



Ishimura Manseido Main Store
石村萬盛堂本店

博多区須崎町2-1

店舗 / 1999年3月完成 / 所有者: (株)石村萬盛堂 / 設計者: 江里恵匠建築工房 / 施工者: (有)井上組

都市景観というに見える姿ばかりに目がいってしまいがちだが、実は都市がもつ歴史に育まれた生活力がいかに具現化されているのかも重要なファクターである。受賞作は、博多が饅頭屋生地のであること、そして山笠の廻り止め(決勝点)に位置することから、博多のランドマークたれという老舗菓子屋の厚とした気概が感じられるものである。建物は、町家をイメージした決して大きなものではないが、暖簾やディスプレイなどにも季節のあしらいがあり、博多の文化を大切にしたいという思いがそこはかとなくメッセージとして伝わってくる。店先では饅頭をふかす蒸気があがっている…なつかしい、そしてなんとも美しい景観をかもしたしている建物である。

(審査委員 今村 洋子)

FUKUOKA URBAN BEAUTIFICATION AWARD 2001 FUKUOKA URBAN BEAUTIFICATION AWARD 2001

Royal Food Service Institute For Training & Education
ロイヤル(株)トレーニングセンター

博多区那珂3-28-5

教育・訓練施設 / 1975年8月完成 / 所有者: ロイヤル(株)

設計・施工者: (株)竹中工務店九州支店



賞の対象となるトレーニングセンターは、諸岡川に架かる那珂下原橋の橋詰めにあたる場所にある。昔からこのような場所に位置する物には、ランドマークとしての性格を帯びると同時に街路空間や河川空間など周辺環境との一体化、調和が求められる。建物壁面のインド砂岩の赤と屋根の銅板の緑青は、周囲の街路樹(ケヤキ)の春の新緑や秋の紅葉と上手く溶け合っており、建物を取り囲む樹種の異なる低木類もそれぞれに丁

寧に管理されており葉色も合わせて、シーズン毎の色彩の変化を想像でき、上記の機能を十分に備えている。建設以来25年の歳月は、建築、植栽にそれぞれの風合いを醸し出しており、特にアメリカフウは、シンボリックとしての風格を備えつつあり、自己主張をしながら地元風景に引き合うように感じることが出来る。

(審査委員 岡本 均)